

## 北極域研究加速プロジェクト (ArCS II)

### 北極域研究加速に向けた研究計画公募 2023 年度開始研究計画 審査要項

#### 1. 審査の手順

##### 1) 審査主体

審査は、ArCS II プロジェクトに設置する研究公募審査委員会によって非公開で実施する。

##### 2) 審査方法

###### (1) 一次審査

提出された応募書類に基づき、書面審査を行う。

###### (2) ヒアリング（必要に応じて）

一次審査を通過した応募について、必要に応じて書面によるヒアリングを行う。

###### (3) 二次審査

一次審査結果およびヒアリングにより得られた回答に基づき、合議の上、最終的な採否を決定する。

審査結果によっては、研究経費が申請額よりも減額される場合がある。

##### 3) 採否通知

すべての応募について、申請書に記載の公募課題代表者の E メールアドレス宛に、ArCS II 事務局より E メールにて採否を通知する。

#### 2. 審査の観点

##### 1) 目的設定の妥当性

- ・研究計画の目的が、4 つの戦略目標の 1 つまたは複数に貢献し、プロジェクトゴールの達成に資するものとなっているか。
- ・【緊急提案課題のみ】北極域に関する最近の国際的な動向や喫緊の課題を正確に把握した上で、明確かつ具体的な目的となっているか。
- ・【挑戦的・萌芽的課題のみ】今後の北極域研究の発展や研究者自身の成長につながることを考慮した上で、独創性、新規性、挑戦性のある目的となっているか。

##### 2) 研究計画の妥当性

- ・研究組織が、目的を達成するために必要な研究者が配置されたものとなっているか。
- ・実施計画が、目的を達成するために十分に検討され、成果を期待できるものとなっているか。
- ・研究経費が、目的を達成するために必要かつ適正なものとなっているか。

##### 3) 「北極域の先住民・地域コミュニティとの協働」への関連性

- ・【緊急提案課題のみ】研究計画が北極域の先住民・地域コミュニティとの協働に関連しているか。

#### 3. 審査基準等

##### 1) 一次審査

###### (1) 審査の評点

評点	評価
5	特に優れている

4	優れている
3	妥当である
2	やや劣っている
1	劣っている

## (2) 各評点の所見等の記入

- ・審査員は、2. 審査の観点の項目ごとに評点を付す。特に3点以外の評点を付した場合には、どの点が優れているか、またはどの点が不十分かについて、具体的な判断根拠・理由等を必ず所見として記入すること。
- ・計画全体に対するコメントについては、採否にあたって極めて重要な判断材料となるため、必ずその内容を総合所見として記入すること。計画についての改善のための条件または意見については、課題・留意点として記入すること。

## 2) 二次審査

- ・ヒアリングがすべて終了した後、各審査員が付した評価結果およびヒアリングによる回答を総合的に勘案し、最終的な採否を決定する。その際、必要に応じて計画についての改善のための条件または意見を付すことができる（研究経費の減額を含む）。

## 4. 利益相反

### (1) 利害関係者の不参加

応募された研究計画と利害関係がある審査員は、事務局にその旨申し出ることとし、当該研究計画の審査には加わらないこととする。利害関係の範囲については、次のとおり。

- ① 審査員が当該研究計画の研究組織の構成員である場合
- ② 審査員が所属する組織（大学・独立行政法人等の機関においては同一の学部・研究科・研究所等）の構成員が当該研究計画の公募課題代表者である場合
- ③ 審査員が指導する学生が当該研究計画の公募課題代表者である場合
- ④ 審査員と密接な関係にある者（親族等）が当該研究計画の公募課題代表者である場合
- ⑤ その他、審査員が中立・公正に判断を行うことが難しいと判断される場合

## 5. 情報公開・開示等

- (1) 審査における各審査員の評価結果や議事要旨は、原則非公開とする。
- (2) 採否決定後、応募のあったすべての研究計画の公募課題代表者に対して採否結果を通知する。採択された研究計画について、実施にあたっての留意事項や条件等がある場合はその旨の通知を行う。
- (3) 審査員は、審査の過程で得た情報について、公表された情報以外は外部に漏洩してはならない。また、審査員として得た情報は、厳重に管理しなければならない。